

ニッキン【地銀欄】 190726

食の商談会を開く
スマホに出展情報

山梨中央銀

山梨中央銀行は7月19日、東京都内で「やまなし食のマッチングフェア」を開いた。山梨県の食関連事業者など67社が参加。バイヤー1千人が来場し、商談は2200件にのぼった。

新たにITを活用した施策を実施。N・シエンが手掛けるスマートフォンアプリ（インフォ・グローブ）で、スマホを振るだけで会場の案内や出展商品の情報を表示する。商談会終了後も情報が見られるため、継続してフォローアップできるようにした。

静岡銀行とNEXC

○中日本との連携で、サービスエリア・パークینگエリアのテナント8社がバイヤーとして参加。後援した日本貿易振興機構山梨の協力で海外に販路を持つバイヤー4社も招待。

「神奈川フェア」コーナーには、横浜銀行の取引先4社が出展。横浜の老舗ごま油メーカー「岩井の胡麻油」の担当者は「普段、接点がない企業と商談できる。出展者同士のつながりにも期待」と語った。山梨中央銀行の関光良頭取は「横浜の道の駅や海の駅とも交流している。山梨の業者にとって視野を広げられる良いチャンス」と期待した。